

# 平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月3日 (土)

会場 日立第一高等学校体育館

【男子の部】 第2日目 Cコート 第1試合

チームA		30 1Q 15		チームB
洛南	116	{ 33 2Q 14	66	九州学院
京都		{ 23 3Q 18		
		{ 30 4Q 19		
		OT		熊本

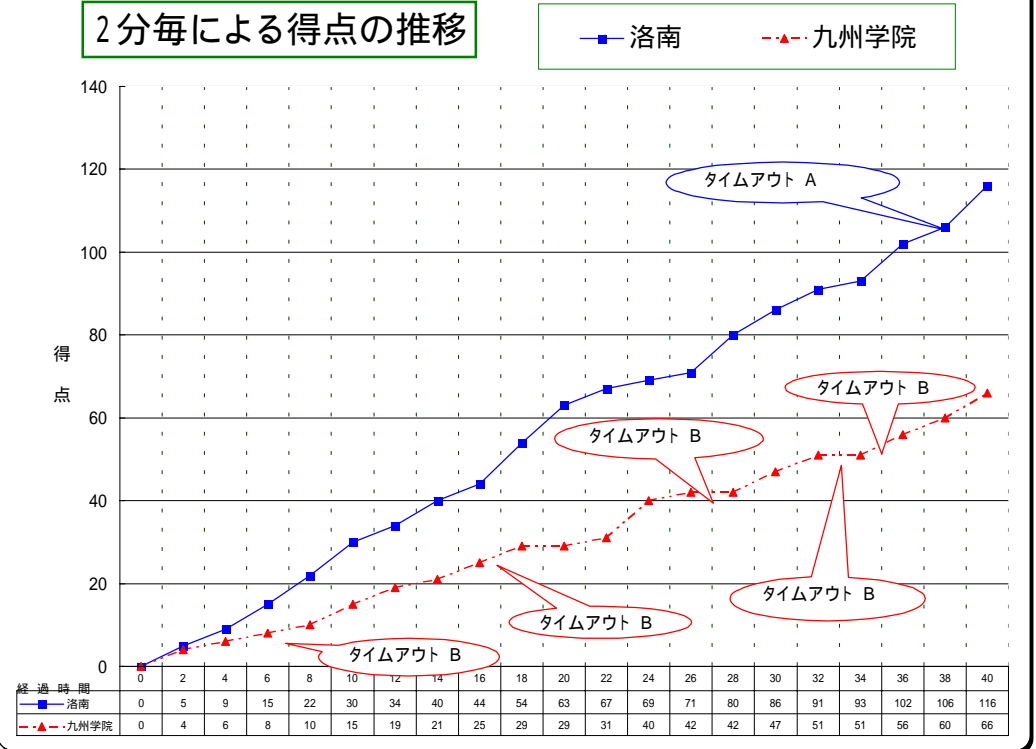
洛南

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	原田 有人	2	0	0	1	4	0	0	0	0	2	0	1	0	14	
5	名本 公平	8	0	0	3	9	2	2	1	0	2	4	1	1	14	
6	竹内 公輔	22	0	0	9	9	4	4	2	3	8	2	0	5	3	29
7	竹内 謙次	11	0	0	5	6	1	2	2	2	3	1	3	2	2	29
8	日櫻 直人	7	1	1	2	3	0	1	0	1	0	1	2	1	1	15
9	横尾 達泰	11	0	0	5	7	1	1	0	0	2	0	1	2	0	23
10	西垣 仁貴	10	1	2	1	5	5	5	1	2	0	3	0	1	0	4
11	深尾 晃生	16	1	1	6	8	1	2	0	0	1	2	1	3	1	21
12	木村 励	6	0	0	2	3	2	4	0	1	1	3	2	0	1	19
13	木村 勇太	11	0	0	4	6	3	4	0	1	1	2	2	0	1	14
14	木村 壮志	8	0	0	3	5	2	4	3	2	2	1	0	1	1	10
15	岡田 健佑	4	0	0	0	1	4	6	3	2	1	1	2	0	0	8
コーチ	作本信夫雄								0							
		116	3	4	41	66	25	34	13	13	22	23	13	17	9	200
		確率	75.0%		62.1%		73.5%				計 35					

九州学院

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	福田 智文															DNP
5	甲斐 啓太	13	0	0	5	12	3	4	5	0	4	2	0	0	2	39
6	松尾 大輔	2	0	1	1	1	0	0	5	1	0	2	0	1	0	25
7	太田 誠吾	25	2	11	9	18	1	2	1	3	0	3	4	10	1	39
8	南 啓賢	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	1	0	1	0	9
9	中村建太郎	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0	9
10	吉岡健太郎	0	0	3	0	2	0	0	4	0	0	2	1	0	0	7
11	黒田 和哉															DNP
12	古庄 涼太	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	2
13	吉村 聖	21	3	5	5	13	2	2	3	3	3	3	1	2	0	39
14	徳永 真也	5	1	8	1	4	0	0	4	0	4	7	2	0	0	31
15	高木 一字															DNP
コーチ	田中 洋平								0							
		66	6	28	21	50	6	8	31	8	11	23	9	14	3	200
		確率	21.4%		42.0%		75.0%				計 19					

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

第3シードの洛南と一回戦を逆転で勝ち上がってきた九州の試合は、静かな立ち上がりで始まった。ディフェンスは洛南がハーフコートマンツーマン、九州がオールコートディフェンス。オールコートの九州がプレッシャーをかけ速攻を決めていくが、洛南は高さを生かし#6竹内(公)のブロックショットなどで攻撃を止めゴール下で攻めていく。#6竹内(公)の連続7得点などで差をつけ始める。30 - 15で洛南が第1Pをリード。

第2P、九州は#7太田の良い動きから、ゴールを狙う。しかし洛南の高さに苦しみ、どうしても外から打たされる形になってしまう。九州はタイムアウトを取り、元気良く走り出すが、洛南は#9横尾のカウントプレーや#10西垣の3Pで引き離し、63 - 29と洛南リードで終了。

第3P、九州はディフェンスを2 - 3ゾーンに変えるが、隙を洛南#5名本が狙い連続して得点する。九州はさらにハーフコートの1 - 2 - 1 - 1ゾーンプレスを始め、流れを変えようと頑張る。洛南は慌てるがすぐに落ち着きを取り戻し、#11深尾がスチールから得点へとつないでいく。終了間際に九州#13吉村が3Pを入れるが点差は縮まらない。86 - 47で洛南39点のリード。

第4P、九州は更にオールコートマンツーマンへとディフェンスを変えるが、洛南の正確なシュートが続く。後半、九州#13吉村がルーズボールを拾い、シュートを決め意地を見せるが、116 - 66と点差がつき洛南勝利となった。

主審 石田 祐二

副審 ヴォス ランドル

記入者 宮崎 哲之